

CST養成プログラム[現職教員大学院生履修用]概要

(2022年度以降入学者用)

年次	月	ガイダンス等	CST理解	教科内容理解	教科専門性深化	社会教育施設理解	授業実践研修	CST支援実習				
1	4	プログラム説明										
	5		<講義> 半日 科学リテラシーと 観察・実験, 理科 教育の現状と CST, 地区理科教 育センターの歴史 と役割など									
	6											
	7											
	8				<自然観察実習I> 半日×3 里山・河川・海岸							
	9		<講義> 半日 小・中学校学習指 導要領の理解深 化, 理科教育の最 新の方法論, 注目 される実践例など	<講義・演習1> 3 日 小・中学校の理科, 及び高等学校の物 理・化学・生物の学 習指導内容につい ての分析・理解, 基 本的実験指導の確 認と発展的実験の 演習など	<自然観察実習II> 3日 高山・亜高山	<大学院授業> ・・選択科目例・・ カリキュラム・マネジ メントを育む理科学 習デザイン論 教科内容構成(理 科)の理論と実践A 教科内容構成(理 科)の理論と実践B 教科内容構成(理 科)の理論と実践C 教科内容構成(理 科)の理論と実践D 科学的リテラシーの ための授業設計論 理科教育課程の理 論と実践 自然環境学習の理 論と実践 理科授業の理論と 実践(野外観察)	<課題研究> 各自が理科に関 わる研究課題を設 定し, 見通しを持っ て研究計画を立 て, 調査実験を行 い, 科学的な考察 により結論を得た ものを, 論文にま とめる。	<視察1> 半日 国立妙高青少年 自然の家 <視察2> 半日 フォッサマグナ ミュージアム <視察3> 半日 清里星のふるさと 館	<実習1> 5日 各地区理セン理解 研究会準備 研究会運営 地域素材把握 科研・標本展準備 科研・標本展運営 科学振興事業支 援 年度末事務理解 など			
	10			<自然観察実習III> 半日×6 市街地・地質・気 象・ICT活用など								
	11											
	12											
	1											
	2											
	3	履修状況確認										
4	プログラム確認											
5												
6												
7												
8												
9				<講義・演習2> 3 日 内容は上記				<実習2> 5日 内容は上記				
10												
11												
12												
1												
2												
3	CST認定・修了発表 会											



本プログラムの講習内容は
本学ホームページからも
ご確認いただけます。